

2022年度秋季トーナメント大会 反省事項

総務部

【コロナ感染対策について】

・クーリングスペースを利用できているチームが増えた
→代表者会議での呼びかけ等

・健康チェックシートの記入箇所の見直し
→受付の混雑を防げた

・コロナ罹患患者・濃厚接触者が発生した場合の連絡を電話とメールの2つの報告にしたため、対応がはやくできた

【表彰式、閉会式について】

・初めと終わりに締めとして、「起立、礼」を入れる
→シナリオ確認

・「GOODTEAM賞」の賞状の授与者の間違い
→事前確認で閉会式に出るひとが全員把握する

【代表者会議について】

・資料の一体化
→チーム目線でたった時にわかりやすいように資料を一体化できた

・スクリーンに接続できないパソコンをもってきてしまった
→全員確認

【発送について】

・消毒液が漏れていることがたくさんあった
→発送の仕方を工夫する

・健康チェックシートを入れ忘れる
→全員で確認

広報渉外部

【良かった点】

・一眼レフカメラでの撮影に挑戦した。
YouTubeのサムネやInstagramの投稿に使用し、以前よりも投稿にこだわる
ことができた。また、チームへ写真を共有した。

・一眼レフカメラで撮った写真で動画を作成し、Instagramに投稿した。
今大会も学連員の私物をお借りした為、来年度の大会までには一眼レフカメラ
を準備する。

・今大会も広報担当を配置し、スムーズに結果を掲載できた。
来年以降も運営の人数などを考え、余裕があればこの体制を維持したい。



- ・発送リストを作成し、広報の荷物は可能な限り自分達で発送準備をしたことで、発送漏れや荷物の紛失がなくなった。
- ・「GOODTEAM 賞」という新しい企画に挑戦した。
試合日ごとに学連員で話し合い、公平に判断し対象チームを決めることが出来た。

【反省点】

- ・パンフレット作成の際、作業日程変更があり三和印刷にご迷惑をおかけした
パンフレット関係部署（総務、競技）と事前の打ち合わせや日程の確認を明確に行う
- ・一瞬だけパソコンが落ち、該当時間の映像が途切れることがあった
原因は不明。
途切れている時間帯はインスタライブで対応し、2分ほどで復旧した。
画質、明るさの調整を電波状況や会場の照明に応じて対応し、より見やすい配信にする
- ・HP 用データ作成を担当していた学生のパソコンがデータ公開直前で使えなくなり、全てのデータを初めから作り直した。
作成途中のデータを共有するようにする
- ・タイムスケジュール告知を前日にすることが出来ず、当日の朝にすることが何度もあった。
前日に告知が出来ているか確認するのを徹底する。

競技部

- ・観客（保護者）が会場の大学に無許可で自家用車を大学敷地内に駐車することが見受けられた。

→原則として、自家用車の大学への乗り入れについては関係者以外は厳禁であることの徹底が必要と思われる。周知徹底の必要がある。

- ・ユニフォームの色の指定をタイムスケジュールで示すこととして代表者会議で連絡し徹底していたが、認識がされず間違えた大学があった。本来の指定のユニフォーム持参しているメンバーで試合をしたため問題にはなかったが、周知徹底の難しさを感じた。

→リーグ戦ではタイムスケジュールにより周知しているが、トーナメント大会では、組み合わせ番号の小さいチームが淡色とすることとする。

- ・メンバーチェックで追加エントリーの見落としがあった。

→追加エントリーを反映したメンバー表で必ずチェックするようにする。



審判部

・審判勉強会について

参加人数 … 14 人

参加人数が少なかったので、次回は女子学連の SNS に載せるなどしてより多くの人に参加していただけるよう方法を考える。

人数は少なかったが意欲ある人材の発掘に繋がっている。口コミで広げていきたい。

・作業割当について

最初の作業予定を考える際に誰が担当するか作業割当を考える。

・割当について

審判員の方に配信した割当の試合開始時間が間違えており、当日の朝に気づき担当審判員の方に連絡を行い、割当配信した予定の時間より 1 時間早く審判員の方に来ていただくということがあった。

→割当作成時から時間等の細かな部分まで確認を行うのと共に、競技部にも確認しタイムスケジュールのズレがない事を、必ずダブルチェックを行う。

また、タイムスケジュールの変更があった時や割当者の名前や被りをチェックする割当チェックの際に試合時間のチェックも忘れずに行う。

・棄権試合の連絡について

連絡できる時間には試合が棄権になったことが分かっていたが連絡を次の日にするということがあった。

→審判員の方は時間を調整して大会にご協力して頂いているということを理解し、試合の棄権や変更が確定次第、迅速な連絡を心がける。

・「報告・連絡・相談（ホウレンソウ）」について

結果だけの連絡ではなく、作業がどこまで進んでいるのか、今どのような状況で進んでいるのか、他の部署とはどういう話をして、どうなっているのか等の途中経過もこまめにするようにする。

・E 級や D 級など都合が回らない学生審判員の集約方法を考える。

→メールのリストやライングループを作り新しく増えた学生審判も追加していくなどする。

財務部

・秋季トーナメント大会の参加費の領収書を書くチームに渡すのを忘れていた。

→大会が始まる前に準備し、初戦の日に渡せるようにしておく

・会場でパンフレットを購入できていないチームがあった。

→財務部全員でどのチームが購入できていないかを把握し、初戦のエントリーの際に声掛けできるようにする

・チーム販売用のパンフレットを会場に発送するのを忘れていた

→大会が始まったときは、パンフレットを多めに発送するようにする